



## 【造船所見学・船の進水式探究】

### 《目的・ねらい》

[目的] 船台での進水式を目の当たりにして、そのスケールの大きさを実感するとともに、建造された船舶がグローバル社会で大きな役割を果たしていることを理解する。

[ねらい] 船舶のスケールの大きさを実感し、船舶への興味・関心を持つ。



### 《実施内容》

◆ 船台を持つ造船会社の進水式等の探究活動

○ 日時 平成30年10月23日(火) 10:15

○ 場所 しまなみ造船株式会社

○ 対象 機械造船科1年生 40名

○ 内容 進水式の見学・建造関係者への質疑



### 《生徒の感想・学んだこと》

- ・ 船台を滑り、入水する様子を見て、建造に携わって進水式を見られたらどれほど達成感を感じるだろうかと思いました。
- ・ 船が入水するときの迫力に鳥肌が立ちました。近くで船を見て、自分も将来、大きな船を造ってみたいと感じました。
- ・ 進水式を見て、船一隻造るのに莫大な費用と時間、そして人材が必要であることが、改めて理解できました。
- ・ 将来の仕事への思いが深まり、造船業に興味が湧きました。
- ・ この日のために多くの人が頑張っているということを実感し、船はみんなの希望をのせているのだと思いました。
- ・ 働いている方々が自分の仕事に集中して取り組んでおり、自分に向いている仕事ではないかと感じました。



### 《企業の方のコメント》

式典の見学では生徒の熱い眼差しを感じ、質疑では建造船やブロックに関する質問が多く出ていました。日頃から、造船に興味を持ち、楽しく学んでいる様子が見え、うかがえました。

### 《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

進水式をはじめて見学する生徒が多く、シャンパンが割れ、船が動きはじめると、思わず拍手し、感嘆の声を上げる姿も見られた。日々の学習が、このような立派な船の建造につながることを理解し、学ぶ意欲が高まったと感じた。

